

456 10月9日に緑地公園で0から5歳児を対象に実施した「おひさま広場」。この日はどんぐり集めとしゃぼん玉遊びを親子で楽しみました。どんぐりを集め、大切そうに箱に入れる子どもたちにとって、自然の恵みは宝物です。7夏の緑地公園周辺で、グリーンサポート隊が整備した林で昆虫採取をする子どもたち。



自然体験 緑地公園

みよしグリーンサポート隊の皆さんが整備している緑地公園では、子どもたちが自然と緑に囲まれながら、ふるさとを感じています。

自然がほら、そこにある。



春夏秋冬

緑地公園周辺にはクヌギやコナラなどの木が多くあります。春は新緑、夏はカブトムシやクワガタなどの昆虫が、秋は紅葉、冬は循環型農法で活用される落ち葉の絨毯などで訪れる人たちの胸をときめかせてくれます。

1 10月24日に竹の子エコクラブが実施したロープワークを使った木登り。最初は怖くて、なかなか上に登れませんでした。最初は怖くて、なかなか上に登れませんでした。2 木を伐採するには、どのようにのこぎりを使って切ればよいのかななどをボランティアスタッフから学びながら体験。3 木漏れ日を浴びながら木登りをしばし休憩。歩いて行ける距離でこんな貴重な体験ができる環境が三芳町にはあります。



緑地公園で紅葉と三芳町の「ヤマ」を体感



10月まではバーベキューができ、夏は賑やかな緑地公園。今の季節は落ち葉が一面に広がり、歩くとふかふか。紅葉も楽しみ、先人の恵み「ヤマ」を体感することができます。



住所：三芳町藤久保 1112-1

とても大切なことです。子どもたちが大人になった時、自分が生まれ育った町を「自慢できる町」にしていきたいために必要なこと。それは小さなころから身近な場所に自然と緑があることを肌で感じ、それを残していきたいと思う気持ち……。

落ち葉のふかふか絨毯

今の時期、落ち葉の絨毯が皆さんを待っています。ふかふかの感触を体験して三芳町の「ヤマ」を感じてみませんか。



自然とふれあう大切さ

新しく三芳町で暮らし始めた皆さんが町の魅力を感じるために、まず緑と自然がギュッと詰まった緑地公園を訪れることをお勧めします。

四季折々の表情を見せるこの緑地公園。特に子どもたちに、自分たちが暮らす三芳町をいつまでも誇りに思ってもらうために、自然と触れ合うことはとても大切なことです。

本一東京から近い「町」であり、都心からわずか30kmで田舎のような里山を感じることができる「トカイナカ」三芳町。生まれ育った三芳町の自然と緑に親しみ、ふるさとを思う心を育てる活動をしている「竹の子エコクラブ（写真①～③）」や町の子育て支援の事業などで、緑地公園が活用されています。

緑に囲まれた大自然の中で遊ぶことができるのは三芳町の魅力の一つ。春は新緑と爽やかな風を感じ、夏には都会の子どもたちがうらやむカブトムシやクワガタの採取ができます。さらに秋は紅葉、冬は落ち葉でできたふかふかの絨毯を歩き、里山を肌で感じるができます。